

# 第12回 新都市社会技術セミナー 開催報告

H27.9.15



新都市社会技術融合創造研究会

- 平成27年9月15日(火)13:30~18:00に、新都市社会技術融合創造研究会は研究成果の広報を目的としたセミナーを、大阪合同庁舎1号館第一別館2階大会議室で開催しました。
- このセミナーは社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として設置した「新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三関西大学環境都市工学部特任教授)」の下、平成15年に第1回を開催して今回で12回目を迎えます。
- 産・学・官各分野から多数の聴講者の中、現在実施中のプロジェクト10件(左下表参照)について、各プロジェクトリーダーより研究成果が紹介されました。

## ～講演プログラム～

開会挨拶 大西 有三 委員長

講演1 降雨特性に応じた道路交通規制のあり方に関する研究  
講演者 小山 倫史(関西大学 社会安全学部 准教授)

講演2 ゲリラ豪雨に対応した道路のり面監視方法に関する研究  
講演者 小田 和広(大阪大学大学院 工学研究科 准教授)

講演3 道路盛土における排水施設点検・管理手法に関する研究  
講演者 澁谷 啓(神戸大学大学院 工学研究科 教授)

講演4 環境に配慮した歩道舗装に関する研究  
講演者 ※石川 義人(プロジェクト幹事(大林道路(株)))※代理講演

講演5 橋梁の排水施設構造の改善に関する研究  
講演者 奈良 敬(大阪大学大学院 工学研究科 教授)

講演6 橋梁の疲労亀裂調査の効率化に関する研究  
講演者 坂野 昌弘(関西大学 環境都市工学部 教授)

講演7 橋面より実施する簡易な橋梁点検システムに関する研究  
講演者 磯 雅人(福井大学大学院 工学研究科 准教授)

講演8 ひび割れ計測機と飛行ロボットによる橋梁点検手法に関する研究  
講演者 山口 隆司(大阪市立大学大学院 工学研究科 教授)

講演9 FRP製簡易展開式橋梁検査足場の開発に関する研究  
講演者 杉浦 邦征(京都大学大学院 工学研究科 教授)

講演10 舗装アセットマネジメント高度化に関する研究  
講演者 松島 格也(京都大学大学院 工学研究科 准教授)

閉会挨拶 石原 康弘 副委員長(近畿地方整備局 道路部長)



産学官あわせて250名を超える聴講者

### ◆大西委員長開会挨拶(概要)

本日は多くの方にお集まりいただきありがとうございます。このセミナーでは今日的な話題を先取りし、いろんな先生方を含めた関係者の研究成果を、10年以上にもわたって皆さまに届けております。

先週末より北陸から東北にかけての大水害や火山噴火など自然災害のニュースが駆け巡っておりますが、本日のセミナーでは自然災害そのものに限らず、施設の老朽化あるいは強靱化対策などを含めた様々な最新の動向、技術が発表されます。

また研究会では研究テーマを随時募集しており、是非皆さまのアイデアをお寄せいただければ非常にありがたいと思っております。アンケートに感想、改善点などをいただければ以降の研究会の活動に活かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### ◆石原道路部長閉会挨拶(概要)

道路事業を取り巻く課題としては、防災、減災対策の推進があります。先週も台風17号18号が関東、東北地方を襲いました。今回の水害に対しても新たな視点で防災対策、減災対策を進めていかなければならないと考えています。

本日の発表にありました降雨特性、ゲリラ豪雨などの課題についての研究は、大変心強い限りと感じております。また本日発表はありませんでしたが、効率的な道路整備のためのコスト縮減や、施工期間の短縮といった技術開発も進めていかなければならないと考えています。

このように産官学が連携して研究を進めていくことは有意義であり、我々も積極的に参画し、皆さまの研究を支援していきたいと考えております。



大西委員長 開会挨拶



プロジェクトリーダーによる講演(坂野教授)

○聴講者数は251名(産200名、学6名、官45名)、うち105名がCPDS学習プログラムを受講されました。

○今回のセミナーでは聴講者にアンケートを実施しており、「興味深いテーマが数多くあった」「最新の情報が得られた」といった意見の他、「今後も継続されたい」「もっと幅広い研究を聞きたい」といった要望も多数いただきました。

○今後も引き続き産学官連携による取り組みとして、プロジェクトの活動を支援していくとともに、より社会に貢献できる研究を協同して進めていきます。

※講演資料は新都市社会技術融合創造研究会HPで公開  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/>

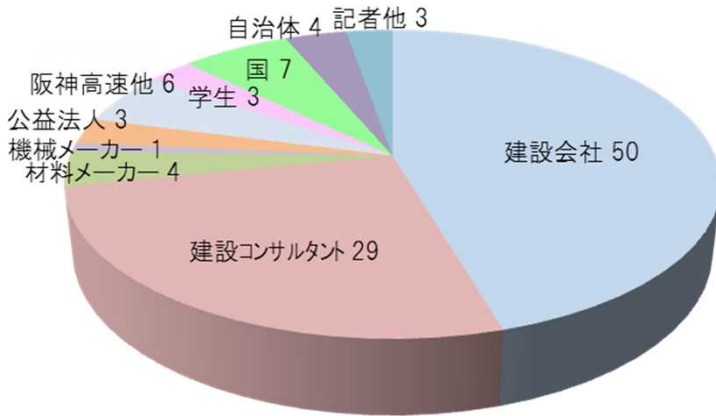
### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所  
技術情報管理官 福本匡城  
〒573-0166  
大阪府枚方市山田池北町11-1  
TEL:072-856-1941 FAX:072-868-5613

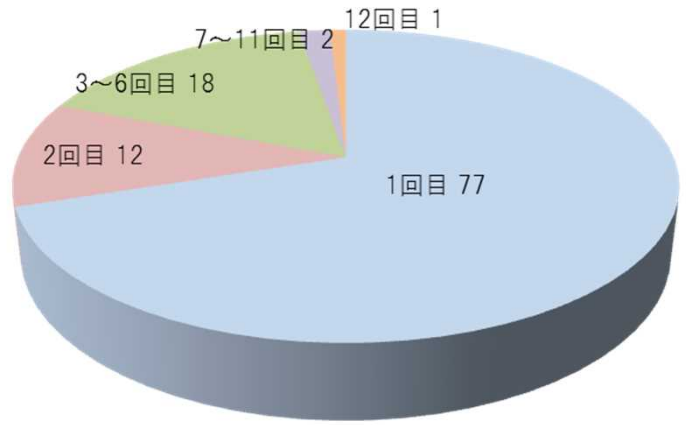


# 第12回新都市社会技術セミナー 聴講者アンケート結果(抜粋)

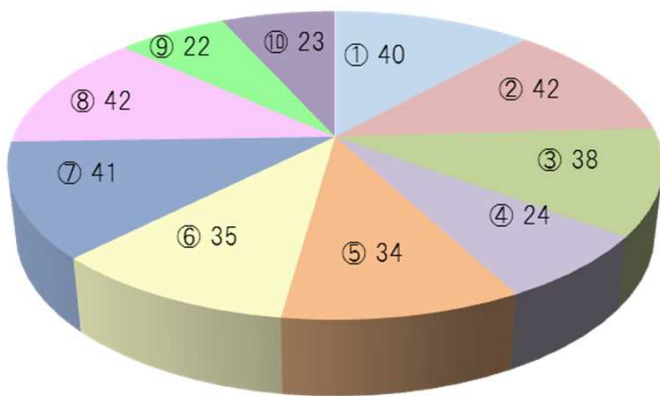
## <1. 聴講者の所属>



## <2. セミナーへの参加回数>



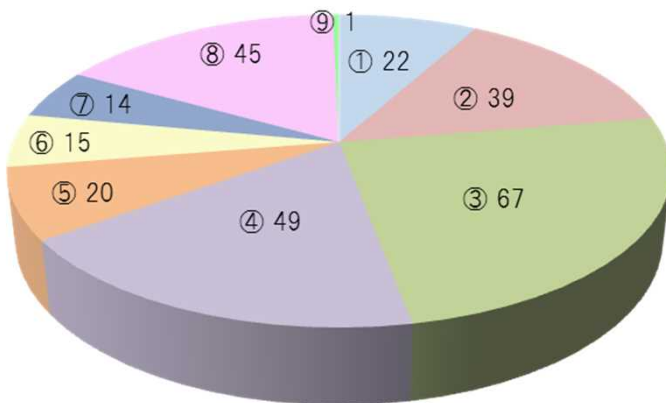
## <3. 興味があったプロジェクト>



凡例

- ① 降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究
- ② ゲリラ豪雨に対応した道路のり面監視方法に関する研究
- ③ 道路盛土における排水施設点検・管理手法に関する研究
- ④ 環境に配慮した歩道舗装に関する研究
- ⑤ 橋梁の排水施設構造の改善に関する研究
- ⑥ 橋梁の疲労亀裂調査の効率化に関する研究
- ⑦ 橋面より実施する簡易な橋梁点検システムに関する研究
- ⑧ ひび割れ計測機と飛行ロボットによる橋梁点検手法に関する研究
- ⑨ FRP製簡易点形式橋梁検査足場の開発に関する研究
- ⑩ 舗装アセットマネジメント高度化に関する研究

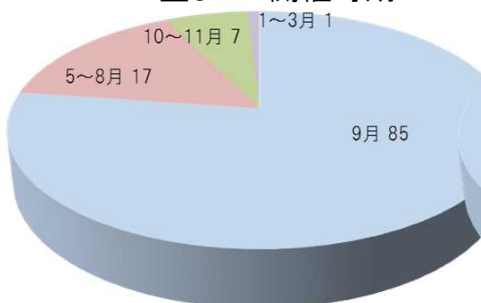
## <4. 新たに取り組んでもらいたい研究テーマ>



凡例

- ① 舗装に関する研究テーマ
- ② 橋梁に関する研究テーマ
- ③ 維持管理に関する研究テーマ
- ④ 新技術・施工法に関する研究テーマ
- ⑤ 環境やリサイクルに関する研究テーマ
- ⑥ まちづくりに関する研究テーマ
- ⑦ アセットマネジメント
- ⑧ 防災に関する研究テーマ
- ⑨ その他

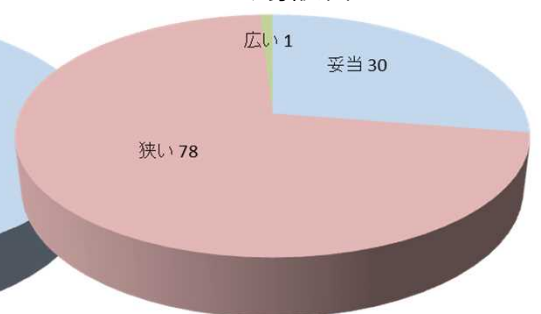
## <5. 望ましい開催時期>



## <6. プロジェクト発表時間>



## <7. 会場設営>



## 第12回新都市社会技術セミナー 聴講者アンケート結果(コメント関係)参考

### <3. 興味のあるプロジェクトにおける理由>

01	異常気象時の施設への影響が知りたい。
02	弊社製品開発のテーマであるため。
03	道路防災点検や土砂災害防止法基礎調査に関わっているため
04	点検に興味がある。
05	橋梁業界における新設から補修・保全への移行に必要な技術を習得する。
06	実務において直面していて興味深い。
07	当社が行う業務に深く関連しているため。
08	専門分野のため。
09	橋梁維持修繕に興味があったから。
10	現在、点検業務に従事しているため。
11	橋梁のメンテナンス工事に携わっているため。
12	盛土施工時の注意点を再認識した。
13	アセットマネジメントの高度化に興味を持ったため。
14	今後使うかもしれないと思ったから。維持管理がマニュアル化されて今後使えると思ったから。
15	橋梁の延命化に対する重要なプロジェクトであるため。
16	研究分野にマッチしたため。
17	実務への直結、重要性が特に高いと思われる。
18	今後の点検作業の参考になった。
19	最近の異常気象になんとか対応したい。
20	実用化に近いテーマと感じた。
21	防災に関心のある社会に対してタイムリーな研究のため。

### <4. 新たに取り組んでもらいたいテーマにおける理由>

01	④非破壊検査技術
02	①高耐久性の舗装、③防水、排水処理
03	①点検、維持管理手法について、③CIMの活用
04	⑧減災の方が望ましい。
05	⑤リサイクルできる製品の説明。⑥地震・津波、⑧ゲリラ豪雨対策(街や河川等)
06	⑧総合的な課題
07	②・③維持管理に関する指標の作成とデータベースの作成、⑦各防錆技術の有用性について(橋梁における耐候性鋼材と塗装の追跡調査など)
08	⑦評価方法
09	③中小企業との連携
10	③維持管理の合理化、④施工性の向上・合理化・コスト縮減など
11	⑧L2分野
12	②・③PC橋、⑨PI・合意形成
13	⑧ゲリラ豪雨等各地で発生しており防災についての社会の関心があるため
14	⑥未利用(未活用)用地の有効活用方法